



令和1年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力  
契約署名及び小切手供与

2020年3月23日、在パナマ日本国大使館において、草の根・人間の安全保障無償資金協力の契約書名および小切手供与を行いました。

「セロ・バテア保健センター青少年健全育成施設整備計画」及び「ラ・チヨレラ特別支援学校職業訓練教室増改築及び実習機材整備計画」の被供与団体は、それぞれ大使館との間で契約署名を行い、大脇大使より案件実施のための資金計170,581米ドルを受領しました。同2案件の実施により、パナマにおける保健分野の改善及び障がい者の社会参加の促進に繋がる事が期待されます。

草の根・人間の安全保障無償資金協力のスキームの下、パナマでは25年間、合計229件の案件に協力してきました。これらの案件は、いずれも実施団体の弛まぬ努力により優れた成果を上げましたが、本日契約署名された2団体も既に実績を上げていますので、本プロジェクトにおいても必ず所期の成果を挙げられるものと考えております。

## 各案件概要

### ゼロ・バテア保健センター青少年健全育成施設整備計画

被供与団体：ゼロ・バテア保健委員会

供与内容：青少年のための保健サービススペースの整備

供与額：90,418 米ドル

案件概要：パナマでは、未成年による妊娠や性感染症が年々増加し、社会問題となっています。ゼロ・バテア保健センターは、適切な保健サービスを提供するためのスペースの整備が追いついていない状況です。当施設が整備されれば、青少年に対して、プライバシーのある空間での保健教育、健康診断、個別相談等総合的なケアをすることが可能となり、地域の青少年の健全な育成が期待されています。

### ラ・チョレラ特別支援学校職業訓練教室増改築及び実習機材整備計画

被供与団体：ラ・チョレラ・ロータリークラブ

供与内容：職業訓練教室2教室の増改築及び実習機材の整備

供与額：80,163 米ドル

案件概要：当学校は、西パナマ県において唯一の特別支援学校であり、多くの身体障がいや知的障がいを持った児童生徒に対し、社会参加や進路学習をサポートするための様々な授業を提供しています。しかし、職業訓練教室の施設環境は悪く、実習に使用される機材も適切なものではないこと等により、生徒の学習に支障をきたしている状況です。職業訓練教室2教室の増改築及び実習機材を整備することにより、同校の学習環境改善を図り、障害を持った児童生徒が技術を習得できるようになり、同地域における障がい者の社会参加の促進にも寄与することが期待されています。